

札幌南一条病院

でんしゃどおりつうしん

# 電車通り通信

冬号  
2024.1 vol.40  
FREE

特集

インフルエンザと  
新型コロナウイルス感染症について

科長就任のご挨拶

低線量胸部CT検査を開始します

腎臓病向けレシピ

連携医療機関のご紹介

〈すみかわ皮膚科アレルギークリニック〉

部署紹介～薬剤科～

南一条INFORMATION



# インフルエンザと 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の流行で、私たちの暮らしは一変し、今まで「人に会うことがリスク」になることが予想すら出来ませんでした。この先どうなるのか、不安を抱えるのも当然です。その感染の予防策としては、「新しい生活様式」、「新しい日常」、「ニューノーマル」と言われる新たな時代に入っています。さて風邪(かぜ)・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、似ている部分と違う部分があります。症状や原因など、それぞれの特徴と注意点を知っておくと、安心して治療に取り組むことができます。



## 風邪の症状について

風邪は専門的には「かぜ症候群」と呼ばれ、色々な病原体(細菌やウイルスなど)の感染で起こります。多くの症状は喉の痛み、鼻水、くしゃみや咳などが続き、発熱もインフルエンザほど高くなく、微熱程度で済むことがほとんどですが、**少々重めの風邪と比較的軽いインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の場合には区別が付きません。**



## インフルエンザの症状について

典型的なインフルエンザは、突然の38℃以上の高熱、全身の怠さや関節痛、筋肉痛を伴うことが特徴で、高齢者では肺炎、小児では重症化の場合、**脳炎などの急性脳症**の合併を起こす感染症としての認識も必要です。症状出現後、12-24時間以降に抗原検査を行うと診断でき、抗インフルエンザ薬を速やかに内服することで解熱までの時間を早めることができます。



## 新型コロナウイルス感染症の症状について

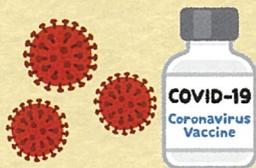
新型コロナウイルス感染症も、かかり始めは、風邪とよく似た症状がみられますが、風邪やインフルエンザは通常、発症から3~4日で症状が軽快します。一方、この感染は軽症であっても1週間ほど症状が続き、急激に悪化し、肺炎も合併することもあります。発熱が高くなくても倦怠感が強いこと、腹痛や下痢や、特に嗅覚・味覚異常はこの感染症の特徴で、稀に血栓症や心筋炎などの心臓疾患が報告されていますが、全く症状がない方も多く、個人によって症状の現れ方は異なります。

とは言え正直、症状だけで風邪なのか、インフルエンザなのか、新型コロナウイルス感染症なのかを見分けるのは至難の業です。今年の冬も積極的にこれらの感染症の検査を行い、診断をつける必要があります。**更に厄介なのは、**新型コロナウイルスに感染しても多くの人が無症状や軽症である一方、症状が現れる数日前から発症後7~10日間程度までウイルスを排出し、他の人に感染させる可能性があり、周囲への感染の広がり大きな要因となり、このことが感染予防を難しくしています。一部でインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時感染で症状が重く

なることもあります。また重症化のリスクとなる基礎疾患である慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があり、高齢者、乳幼児、妊娠中の女性や喫煙歴がある人も注意が必要です。

## 新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンの有効性は感染予防・発症予防効果の持続期間等は2~3か月程度とされ、重症化予防効果は1年以上一定程度持続することに加えて、流行株に合わせた追加接種を行うことで更に予防効果が得られると報告されています。2023年5月に**感染症法上「5類」**に移行して以降、マスクの着脱などの感染対策は原則、個人に委ねられ、ワクチン接種もするかどうかも、メリットとデメリットをよく考え、各人の判断に任されています。接種の判断に迷ったら、かかりつけの病院に相談しましょう。



## 予防について

感染者がマスクを着ければ、接触した人が吸い込むウイルスの量は減少します。人と接する時はマスクを着用し、「熱や風邪のような症状があったら無理をせず休む」というのは最低限必要です。「症状がない」人もいることから、少なくとも症状が少しでもある人は休むようにしましょう。今期は早期にインフルエンザも流行しており、この冬は感染拡大が懸念されています。飛沫感染、接触感染によって感染するので、こまめな手洗い、身体的距離の確保、手で顔を触れないこと、咳エチケットとしてマスク着用、換気などの適切な感染症予防を実践し、**三密(密閉・密集・密接)を避ける**等の「これまで

やってきた感染予防策を、引き続き冬にも行う」というシンプルな対策が特に重要で、今年の冬も頑張って乗り切りましょう。



## 当院での感染の取り組みについて

院内感染は様々な疾患を持った入院中の抵抗力の弱い患者様が院内でかかった感染症で、高齢化、使用薬剤の多様化によって院内感染の高リスク化が問題になっています。安全な医療を提供するため、当院では**感染対策委員会**の実践的な活動をする**感染対策チーム(ICT)**を組織して、日々院内感染対策に取り組んで活動を続けております。更に患者様だけでなく、勤務するスタッフも医療関連感染から守ることを基本理念としています。「手洗いや手指消毒の徹底」と、「手袋・マスク・ガウン等の着用」などの標準予防策(スタンダードプリコーション)を実施し、院内感染防止に向けての取り組みを行っております。また患者様及び、その御家族の方にも感染予防のため、必要に応じて御面会を制限させて頂き、御協力、御理解をお願いすることがあります。

循環器・腎臓内科  
医長

鳥井 孝明  
とりい たかあき



### PROFILE

札幌医科大学医学部卒業。医学博士。2009年4月より現職。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本透析医学会所属。

## 科長就任のご挨拶



### 生理検査科 科長 吉田 紀子

令和5年4月より生理検査科科長を拝命しました吉田と申します。私は臨床検査技師養成学校を卒業して国家資格を取得したのち、健診専門の会社勤務を経て平成6年に南一条病院へ就職し、早いもので29年が経ちました。平成16年の南三条病院開院に際し当科も当時の主任を含めた一部スタッフの異動があり、それに伴って主任となりました。以来主任ではありますが検査科の責任者を長年務めてまいりました。

このたび新たに科長に就任したことで、より一層安心して安全な検査を行い、正確かつ迅速な診断につながるよう努力してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

この機会に当科を少し紹介させていただきます。血液や尿といった患者さまから採取したものを調べることを『検体検査』といい、患者さまの体を直接調べるものが私たちが行っている『生理検査』です。心臓が規則正しく動いているかなどを調べる心電図検査、息を

吸ったり吐いたりしてもらうことで肺活量など肺の働きをみる肺機能検査、体表面に超音波をあてることで体内の臓器を写しだして調べる超音波(エコー)検査など、内容は多岐にわたります。

特にエコー検査は肝臓や胆のう、腎臓といった腹部臓器・心臓・頭へと血液を送っている頸動脈・手足の血管・ホルモン分泌に関わる甲状腺といった様々な臓器を調べられます。放射線科で行われているCT検査のように一度に広範囲を写しだすことは難しいですが、胆のうの中の1~2mmの小さなポリープを発見することが可能です。

何か自覚症状があるときや血液や尿検査の結果に変化があった場合に行われることの多いエコー検査ですが、当院では一部の項目は人間ドックや健診として受けることも可能です。肌をさらず検査なので特に女性では不安を感じられるかもしれませんが、当科スタッフは全員女性のためその点は安心かとおもいます。ドック・健診の内容によってはオプション扱いや自費検査となる場合もございますので、ご興味のある方はまずは当院の地域医療連携室へご相談ください。



### 放射線科 科長 大谷 祐輔

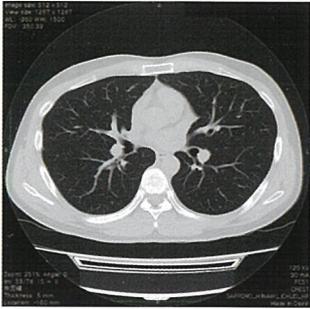
本年度より、放射線科科長に就任させて頂きました大谷と申します。2009年に診療放射線技師の専門学校を卒業し、新卒でこの病院へ入社してから今年で15年目となります。今回の就任を機に、より一層質の高い医療を皆様に提供できるよう全力で取り組んでいきます。近年、IT機器や電子機器は絶えず進化を続けていると思いますが、放射線科で扱う放射線診断機器も同じように進化を続けております。そのため日々学び続け、新しい知識や技術の取り入れにも努めていきたいと考えております。

さて、当院放射線科では、一般撮影検査、CT検査、X線透視検査、血管造影検査を日々の業務として行って

おります。さらに昨年度より、骨塩定量測定装置を導入し、いわゆる骨密度の測定も行っております。当院の装置ではDEXA法と呼ばれる微量な放射線を用いた方法で検査を行います。他の手法と比べ、より高い精度で腰椎と大腿骨の骨密度の測定が可能な検査となっております。被ばくについても、皆様が健診などで受けるような胸部X線写真とほとんど変わらない量で検査を受けることができますので、ご安心ください。

放射線科一同、我々が持てる知識を駆使し、可能な限り被ばくを低減し、安全で精度の高い検査に取り組んでいこうと考えております。当院放射線科で検査を受ける際には、何か不安なことやご質問があれば、気軽にお声掛け下さい。よろしくお願いいたします。

# 低線量胸部CT検査を開始します



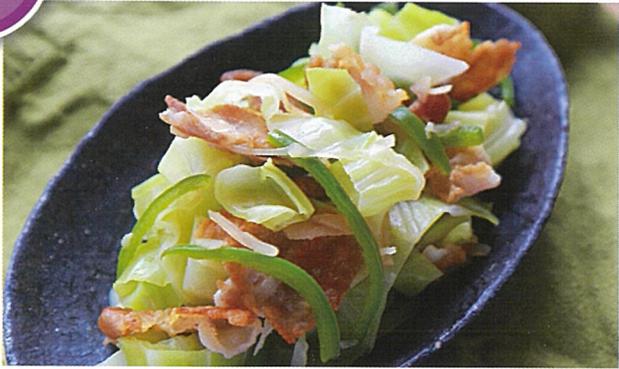
当院では2024年4月より、健診・ドックのオプション検査として低線量胸部CTを開始する予定です。現在、日本人の死亡率の1位は悪性新生物(がん)ですが、その中でも肺がんは増加傾向にあり、2021年の日本でのがんの死亡率1位は肺がんとなっております。肺がんの検診として、日本では胸部X線写真による検診が多く行われていますが、肺がんの検出率は59.6~73.5%程度となっております。それに比べCT検査での肺がんの検出率は93.3~94.4%と高く、CT検査はX線写真では発見しづらい早期の肺がん特に有用な検査となっております。しかし、検出率の高さと引き換えに、CT検査は胸部X線写真と比べると被ばくが多いと

いう難点があります。

今回当院で開始する低線量胸部CT検査は、従来のCT検査と比べ、より少ない被ばくで検査をすることが可能であり、低被ばくで肺がんの早期発見に寄与できる検査となります。また肺がんだけではなく、肺気腫や慢性呼吸器疾患も同時に検出することができます。この低線量胸部CT検査を安全に実施するにあたりまして、放射線技師1名が取得している「X線CT認定技師」の資格に加えて、さらに1名が今年度「肺がんCT検診認定技師」というCT検診に関わる資格を取得しました。スタッフ一同、現在検査の準備に取り組んでおりますので、検査希望の方はお気軽にお問い合わせください。



## 腎臓病向けレシピ



### 材料 (1人分)

豚ばら肉	30g	酢	8g
キャベツ	40g	砂糖	3g
ピーマン	8g	白だししょうゆ	3g
甘酢生姜	5g		

## 豚ばら肉とキャベツの甘酢和え

### 作り方

- ① キャベツは太め目の千切り、ピーマンは千切りにし、茹でる。
- ② 甘酢生姜は千切りにする。
- ③ 豚ばら肉は、3cm幅に切る。
- ④ フライパンに③を入れ、カリカリになるまで焼く。
- ⑤ ボールに酢、砂糖、白だししょうゆを入れ、よく混ぜる。
- ⑥ ⑤に①、②、④を入れ混ぜ合わせ、器に盛りつける。

エネルギー 146kcal	たんぱく質 4.9g	塩分 0.6g
------------------	---------------	------------





## 連携医療機関の ご紹介



当院は「北の大地を照らす燈台(とうだい)でありたい」という想いから、「北燈会」という医療法人名とし、2019年に皮膚科・アレルギー科として開院いたしました。そして燈台としてより多くの患者さんを照らしたいとの想いから、2022年に南平岸駅の近くにひらぎし皮膚科を開院し、病院間で連携を取りながら日々診療にあたっています。当法人は病院間でカルテの共有を行っておりますので、患者様のご都合に合わせてその都度、通院しやすいクリニックでの治療が可能となっています。また法人の理念として「スタッフがhappyであることで患者さんをhappyにする」ことを大事にしており、「楽しく」「仲良く」「効率よく」「仲間のために」仕事することを重視しています。

当院では、アトピー性皮膚炎や慢性蕁麻疹など強い痒みを伴う皮膚疾患を多く扱っております。それぞれの疾患について治療薬である生物製剤(デュピクセント、ミチーガ、ゾレアなど)や特に痒みに効果が強いJAK阻害薬などを多く使用しています。もちろん外用療法や紫外線療法も組み合わせて治療を行っています。これらの痒みに効果的な治療はそのまま透析や糖尿病の痒みにも効果があります。現在透析をされている方や糖尿病を合併している方で、これらの薬が適応となる場合に対して使用しており、そう痒がなくなるなどの効果を上げています。また適応にならない方でも紫外線療法を行っております。透析日に合わせて紫外線治療を行うことで難治性の透析の痒みを軽減することが可能です。

札幌南1条病院の患者様の中にも、糖尿病を患い、皮膚のかゆみや足の病変に悩まれている患者様がいらっしゃるのではないのでしょうか。皮膚のかゆみに関して、当院では紫外線療法や注射による治療のご提

### +

北燈会  
医療法人社団

### すみかわ皮膚科アレルギークリニック

案も行っています。紫外線療法は、かゆみのある部位に対して紫外線を照射することでかゆみの元となるヒスタミンを放出させない効果があります。透析日などに合わせて週に2~3度通院していただくことで、かゆみによる苦痛軽減を図ることが可能です。特に痒疹とよばれる皮膚にしこり状のものが多発して痒みが強い症状では注射による治療が適応になります。デュピクセントという注射剤を2週間に一回投与し、皮膚のかゆみを伝達する物質に働きかけることで、皮膚の炎症やかゆみを抑える効果が期待できます。

足の病変については、ひらぎし皮膚科院長の米田医師がフットケアに精通しております。毎週水曜日の午後はすみかわ皮膚科で米田医師の診察を受けることができ、丁寧な処置とご自宅での日ごろの処置方法の指導を受けることが可能です。糖尿病の患者様の足病変は、糖尿病という疾患の特徴から難治で悪化もしやすいものです。早めの受診と適切な処置がその後の改善に大きく関わりますので、少しでも気になる症状がある方は早めに受診していただくことをお勧めいたします。

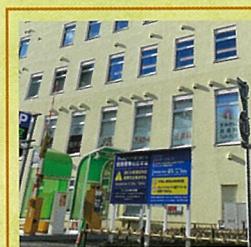
皮膚疾患はかゆみや痛みなどの自覚症状に加え、見た目の変化や仕事に集中できない、夜眠れないなどの日常生活に支障を来す場合があります。当院では、皮膚についてどうしていいかわからずお困りの患者さんを導く燈台のような存在を目指しています。いまは札幌という地域を照らすだけの存在かもしれませんが、いずれは北海道全体を照らす燈台でありたいと考えています。皮膚にお困りのことがございましたら、病気がどうかかわらないことでもどうぞお気軽にご相談ください。



院長 澄川 靖之 先生

#### 〈PROFILE〉

大阪大学医学部卒業  
大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了  
島根大学医学部皮膚科助教  
札幌医科大学皮膚科助教・講師  
2019年に医療法人社団すみかわ皮膚科アレルギークリニック開院  
現在に至る  
〈資格・役職〉  
日本皮膚科学会認定専門医  
日本アレルギー学会認定指導医  
日本皮膚科学会 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン委員



札幌市中央区南1条  
西14丁目291-81  
ウイステリア南1条ビル 2F  
☎011-280-1122

#### 【診療時間】

8:30~18:00(木・土は11:00まで)  
休診日：日曜・祝日

私たち、こんな  
仕事をしています

## 部署 紹介



当院薬剤科は5名の薬剤師で業務を行っています。医薬分業が進み病院薬剤師は何をしているの?と思われる方もいるでしょう。業務内容の一部を紹介します。主に入院された患者様の入院から退院までのお薬の管理を行っています。管理内容は持参薬の確認から始まり内服薬・注射薬の調剤調製、病棟業務、医薬品情報管理など多岐に渡ります。持参薬の確認では重複投与がないか、アレルギー歴、副作用歴、薬がきちんと飲んでいるかの確認を行います。入院中の患者様はご高齢であったり、腎臓の動きが低下していたり人工透析をしている患者様が多くなっています。このような患者様は通常のお薬の量では体内に長く残ってしまい、薬の効果が強くでることや副作用が出やすくなってしまうことがあります。そのため、投与量が通常より少なくなることがあります。また、人工透析前後での内服薬・注射薬の投与量や投与方法の検討が必要となることがあります。業務中、投与量は適切か?投与速度は適切か?投与方法は適切か?透析を受けている患者様に投与可能なか?など処方薬の監査を行いながら業務を行い、疑問がある場合には医師に問い合

わせをします。また、高カロリー輸液(長期間食事を取れない患者様が必要な栄養を取ることができる注射薬)などの調製(混注)も行います。細菌汚染による患者様の感染リスク低減のためクリーンベンチ(清潔な状態)にて調製し細菌や異物による汚染を防止する取り組みをしています。市販されている薬では効果が十分ではなかったりした場合、患者様に必要であったり、検査に必要となる薬を院内で調製もしています。病棟における業務では、検査値をみて患者様の状態把握をし、処方されたお薬の効能効果など服薬指導を行います。服薬状況にあわせ、服用時毎に薬の一包化を行い、医師に処方提案の必要性も検討しています。病棟における医薬品の適正な管理、保管なども業務のひとつです。医薬品情報管理では、医薬品に関する様々な情報を収集、整理し医師や看護師の問い合わせに答え患者様によりよい薬物療法を提供できるよう努めています。また、院外処方せんでは調剤薬局からの問い合わせに対応しています。

最近ニュースで話題になっている医薬品不足の問題ですが、当院も例外なく供給不足に悩まされています。医薬品の安定供給に奔走していますが、やむを得ない場合、医師へ他薬剤への変更を問い合わせすることもあります。退院時には、服薬指導の一環として、患者様に薬剤情報説明書とお薬手帳に添付する薬剤一覧表をお渡ししています。他院へ受診される際はお薬手帳を持参するようにしてください。



## MINAMI 1 JO HOSPITAL INFORMATION

南一条病院インフォメーション



## クリスマスカードを入院患者さんに プレゼントしました

今年も、正面玄関に大きなクリスマスツリーを飾りました。そして、入院患者さんに病院からのクリスマスプレゼントとクリスマスカードをお配りしました。このクリスマスカードは、当院でボランティアをしてくださっている方の手作りです。心のこもったプレゼント、患者さんにもお喜びいただけました。



外来担当医一覧

科目	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
循環器 腎臓内科	午前	高木	青山	青山	工藤	工藤	ホームページ 参照 ※1
		占部	高木	土田	土田	占部	
		小松 (腎臓専門外来・完全予約制)	鳥井	陳	神津	土田 (セカンドオピニオン)	
	午後	土田	工藤	高木	青山※4 (透析専門外来)	青山	休診
			土田※2 (透析専門外来)		三浦 (循環器専門外来・完全予約制)		
		陳	鳥井※3 (透析専門外来)	鳥井	陳		
呼吸器 内科	午前	中島	田垣	眞木 漢方外来 一般診療との並行診療	中島	中島	担当医 下記参照※5
	眞木※7 ドック						
糖尿病 内科 一般診療との 並行診療	午前	高木	高木	—	—	—	休診
	午後	—	—	高木	—	—	
消化器 内科 ※6	午前	小林	長佐古 (内視鏡検査のみ)	小林	小林 (内視鏡検査)	小林 (内視鏡検査)	休診
	午後	—	—	—	—	—	

- ※1 循環器・腎臓内科外来の土曜日担当医は、毎週変更となりますので、事前にご確認ください。
- ※2 循環器・腎臓内科の火曜日(原則として第2週のみ)午後は土田医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。
- ※3 循環器・腎臓内科の水曜日午後は鳥井医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。
- ※4 循環器・腎臓内科の木曜日午後は青山医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。
- ※5 呼吸器内科外来の土曜担当医は以下の通りです。 第1・3・5週/田垣医師 第2・4週/中島医師
- ※6 消化器内科の診察は、月・水曜の午前中のみとなり、その他は内視鏡検査のみとなります。
- ※7 呼吸器内科の火曜日午前は眞木医師によるドックの完全予約制(9:30~11:00)です。

ご予約のお問合せ

- 初めて当院を受診・他院からの紹介で当院を受診・3ヶ月以上受診されていない方

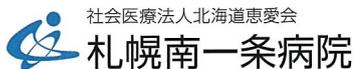
地域医療連携室[直通] TEL:011-271-6050 FAX:011-271-6033

※お問合せ時間:平日/9:00~17:00 土曜日/9:00~13:00

- 再診受診のご予約、お問い合わせの方

外来予約専用ダイヤル TEL:011-271-3712

※予約・お問合せ時間:平日/9:00~16:30 土曜日/9:00~12:00



社会医療法人北海道恵愛会

札幌南一条病院

社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院

電車通り通信

VOL.40

〈発行日〉 令和6年(2024)1月18日  
〈発行元〉 札幌南一条病院 広報委員会

〈診療科目〉 循環器・腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病内科、消化器内科、人工透析、人間ドックほか

〈受付時間〉 平日 8:30~11:30、13:00~16:30  
土曜 8:30~11:30

〈診療時間〉 平日 9:00~17:00 土曜 9:00~13:00

〈休診日〉 日曜・祝祭日・年末年始

〒060-0061 札幌市中央区南1条西13丁目

電話 011(271)3711

FAX 011(281)0275

URL <http://www.h-keiaikai.or.jp/minamiichijo/>

